

令和3年度

1月15日(土)

綾瀬の東京武道館にて、新人剣道大会都大会に初参加しました。昨年都大会予選を全勝で勝ち抜き、なかなか出場できなかった新人戦での都大会出場。4回勝てば3月に行われる愛知県春日井市での全国大会への切符を掴みます。

この大会は、すでに全都でベスト64からのスタートです。私立も都立も含めて、周りは全て強豪ぞろい。

その中でも初戦の東洋大京北は私立で関東大会に出場するほどのチーム。年末年始と初戦にまず勝つことを念頭に励んできましたが、勝ち上がって、続く2回戦は都立鷺宮高校。紫の胴を身につけて、迫力のあるチーム。先鋒1年生の林くんが鮮やかな引き面を決め、次鋒主将の村上くんが引き分けるのですが、完敗しました。結果ベスト32です。2月に段審査を挟んで、3月に国公立大会が控えています。ますます強くなる小川剣道部を見てみたいです。



12月19日(日)

早朝から国士館高校にて、第6支部大会が開催されました。先に始まった女子団体戦は、強豪桜美林高校でした。大将の2年生戸田さんが引き分けるも、惜敗してしまいました。

続く、男子団体は、駒澤大学高校のAチームです。先鋒の1年生林くんが負けましたが、続く2年生主将の村上くん、山下くんと引き分けです。

先日初出場を決めた新年15日開催の新人戦都大会では、強豪東洋大京北と初戦を迎えます。今回の試合結果は、ある意味自信を持たせた貴重な時間となりました。

団体戦の後に行われた個人戦では、嬉しいことに1年生齊藤くんが3位に入賞しました。

年末年始も寒い中で、ハードな稽古が続きますが新年はきっといい事が起こりそうです。





11月21日(日)

国土館高校で新人戦支部予選に参加しました。

女子から始まった予選は、日大櫻丘と対戦して、初心者の1年生野田さんと清水さんが善戦するも敗れ、同じく1年生2段の浅野さんが惜敗してしまいました。女子は4人しかいないので、ただでさえ一人ハンを背負いながらの苦しい戦いでしたが、強豪櫻丘に一人勝利した戸田さんからも残念な想いが滲み出ていました。来月の第6支部大会での活躍を期待します。

続く男子は快挙です。決勝まで進み、宿敵成瀬高校に快勝しました。この瞬間、悲願の新人戦都大会、「初」出場を決めました。今まで、この大会だけ都大会への出場が出来なかったのが大きな喜びとなりました。副将の2年生山下くんの攻防は、応援する我々も惚れ惚れするものでした。大将の2年生高下くんがしっかり勝って、チームとしても一皮向けた実感がありました。ただ、課題もあって、謙虚に基礎基本の徹底を心掛ける稽古をしようと次の目標に切り替えました。

小川高校剣道部は少ない人数ですが、夏の秋季大会では女子がベスト8と敢闘賞です。剣道に少しでも興味のある方は、是非一緒に頑張りませんか。





10月31日(日)

東京武道館にて、久しぶりの形大会に出場しました。感染症の影響で2年間なかったので、貴重な時間となりました。普段の試合と違って、剣道の姿勢が判定される大会です。声の大きさや、木刀の使い方、そして、姿勢の取り方。いずれも、会場に参加した選手からは迫力を感じました。本校は二チーム出場し、2年生の山下さんと1年生の齊藤くん、1年生の戸田さんと浅野さん、それぞれ向丘、多摩工業と接戦でしたが負けてしまいました。次は、11月の新人戦です。本日学んだことを生かして結果を残したいものです。





10月10日(日)

多摩工業高校にて、錬成会に参加してきました。10月31日に行われる剣道形大会に向けて、日本剣道形を学ぶ場でもありました。先生方から教わる動きにはスキがなく、改めて形の稽古は普段の練習に生かせるものだと感じました。11月の支部大会、12月の新人戦と結果を求める試合が続きます。今後に向けて、気合いの入る貴重な時間となりました。





8月24日(火)

昨日に続き、綾瀬の東京武道館にて秋季大会に参加しました。23日(月)に行われた男子団体戦は、代表戦の未保善高校に惜敗してしまいましたが、本日の女子団体戦は快挙です！私が顧問をする、この8年間において女子の団体戦が5人揃って出場できなかったことがありません。今回は5人揃っての出場と、なんと都でベスト8に入賞しました。優勝した八王子実践との戦いでも、1対3と健闘しました。この結果は小川女子剣道部にとって、歴史を作った戦いです。この夏、先輩たちと稽古が出来たことも結果の要因の1つですが、支えてくれる方々に感謝を持って、更なる成長に繋げて行きたいです！

小川剣道部に興味のある方は、是非声をかけて下さい。一緒に強くなりましょう。





8月8日(日)

成瀬高校にて、練習試合に参加しました。台風9号で実施できるか心配でしたが、当日は6校集まって貴重な時間でした。23日(月)に開催予定の秋季大会で、入賞を目的にこの夏は頑張っております。6校中、全勝できたのは大きな励みとなりました。卒業した先輩たちが稽古に来てくれたりと、剣道部はこの夏も熱いです！





5月28日(金)

中間考査最終日ですが、全国高等学校都大会に進出した2年生村上くんは9試合目に東洋大京北高校の選手と対戦しました。

勝負は何とも言えない幕切れになり、力を発揮出来ぬまま負けてしまいました。「公正を害する行為」と言う反則なのですが、相手を傷つけるものでもなく、試合場から出てしまうようなものでもなく、鏝迫り合いの形が悪いということです。

立て続けに反則二本で技あり一本、勝利した選手はベスト8まで勝ち上がっていました。村上くんは悔しい想いが強かったのですが、決勝戦まで試合を観て、すぐ次回の試合へ切り替えていました。考査期間中も練習をして、支えてくれた部員たちに感謝しながら迎えた試合でしたが、学ぶことも多かった試合だと感じます。次回は夏の秋季大会、一皮向けた小川高校剣道部を期待してください。





5月16日(日)

駒澤大学高等学校にて、全国剣道大会支部予選に参加しました。早朝から行われた試合は、午前中に女子の個人戦、団体戦で、午後に男子の個人戦と、団体戦でした。

今回、女子の団体戦は小川高校で2年ぶりの出場となります。女子部員が4人なので、5人戦の団体戦はすでに不利なのですが、強豪駒澤大学高等学校女子に怯むことなく渡り合いました。

次鋒の1年生浅野さんの面が勢いをつければ、中堅3年生の今峰さんの激しいぶつかり合い。そして、副将戸田さんのコテに、大将3年生の菊地さんの面！全てに成長を感じる小川剣道でした。

残念ながら負けてしまいましたが、先に行われた個人戦では、1年生の戸田さんが決勝へ進み、惜しくも破れて都大会への切符を逃してしまいました。

続く、男子は、2年生の村上さんと3年生の辻くんが個人戦決勝へ進み、個人戦で2年ぶりの都大会の切符を2年生の村上くんが掴みました！

今月28日金曜に開かれる東京武道館での活躍が楽しみです。また、団体戦は強豪駒場高校を倒して決勝へ！そこでも、駒澤大学高等学校と強豪に恵まれ、激しい試合となりました。

先鋒の2年生村上くんの面が決まったのですが、続く、2年生の牧野くん、中堅1年生の林くん、副将2年生の山下くん、そして、大将3年生の齋藤くんと破れて完敗でした。

ですが、内容は僅差で負けたという状況で、今後が強くなる可能性を見出しての準優勝でした。小川高校はますます力をつけて行くはずです。私も、久々に、高校生に戻って剣道をやりたくなりました。今後とも小川高校剣道部の応援を宜しくお願いします。







5月4日(火)

芝高校にて、春季剣道大会に参加しました。4月26日に実施予定が、緊急事態宣言下によって延長されるも、今回参加できたことは嬉しく思います。

試合は、都立小山台高校に勝利し、優勝候補の都立光丘高校と激突しました。都立光丘高校は、2年前に都立勢としては初の全国剣道大会に出場した学校です。新メンバーで臨む小川高校がどれほどの力なのか、実力を推し量るにはこの上ない相手でした。先鋒の2年生山下くんが、善戦し、中堅の主将3年生の齋藤くんが引き分けに持ち込むも、完敗でした。その差は大きいとは感じなかったのですが、帰りのミーティングでお話した内容には、「普段の稽古が生きていない!」ということでした。

5月16日は、新1年生を加えて、久しぶりの女子団体も参加して、良い試合と結果になるのではと感じました。まずは支部大会を勝って都大会へ、応援宜しくお願い致します。



